専門的支援のご案内

お子さんに合う方法を選んで行う 39の支援方法

ぐりーんでは、毎日の支援の土台となる個別支援計画とは別に、お子さんの課題に合わせた「専門的支援計画」を立てて、計画的に支援を行っています。39の支援方法の中から、ご家族のご希望をうかがい、担当者会議で話し合って、そのお子さんに合う方法を3つ程度選びます。



ことば



体と感覚



見通し



人との関わり

専門的支援とは

	個別支援計画	専門的支援計画
何のため	毎日の支援全体の計画	とくに力を入れたい課題に、方法をしぼって行う計画
中身	5つの領域ごとの、ご家族の願いと目標	39の方法から選んだ3つ程度の方法と、それぞれの目標・進め方
見直し	半年に1回のモニタリング	個別支援計画と一緒に見直し

支援の土台になる5つの領域

健康・生活

体調・食事・トイレ・着替えなど、毎日の生活の基本

運動・感覚

姿勢・バランス・体や手先の動き、感覚の受け取り方

認知・行動

見る・覚える・考える力、見通し、行動の調整

言語・コミュニケーション

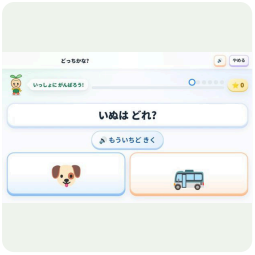
ことばの理解と表出、絵カードや身ぶりも含めたやりとり

人間関係・社会性

人との関わり、気持ちの理解、集団のルール

ぐりーんは医療機関ではありません。ご紹介する支援は、療法や特定の方法そのものではなく、その考え方を取り入れた支援です。成長のしかたやペースはお子さん一人ひとりちがい、特定の結果をお約束するものではありません。

主な領域ごとに並べています・ 言語・コミュニケーション 3つ 運動・感覚 6つ



「いぬは どれ?」聞いて選ぶ

🗣 言語療法の考え方を取り入れた支援

口の体操あそび、音の聞き分け、語彙・文づくり、話の組み立てを、段階をふんで練習します。

こんなお子さんに ことばがなかなか増えない、発音がはっきりしない、聞いて分かるのが苦手、話を順番に組み立てるのが苦手なお子さん

おうちで お子さんの言ったことばを少しだけ長くして返す(「ブーブー」→「赤いブーブーだね」)



カードを渡す練習(職員と1対1)

🖼 絵カード交換式コミュニケーション

ほしいもの・したいことを絵カードで相手に渡して伝える練習から始め、ことばでのやりとりにつなげます。

こんなお子さんに ことばで伝えるのがまだ難しい、伝わらなくてかんしゃくになりやすいお子さん

おうちで おやつを選ぶときに2〜3枚の写真・絵から選んでもらう



先生はそばで待つ

💬 インリアル・アプローチの考え方を取り入れた支援

大人がお子さんのペースに合わせて見守り・まね・ことばを添え、お子さんからのことばとやりとりを待ちながら関わります。

こんなお子さんに ことばがゆっくり、自分から話すことが少ないお子さん

おうちで 質問を減らし、お子さんがしていることを実況する(「積んだね」「高いね」)



見本の文字をマスに書く

✋ 作業療法の考え方を取り入れた支援

なぞり書き・点つなぎ・つまむ・両手を使うなど、手先の動きと目と手の協応、着替えなど生活動作を練習します。

こんなお子さんに 手先が不器用、鉛筆やはさみが苦手、ボタン・お箸など生活の動作に時間がかかる、姿勢がくずれやすいお子さん

おうちで 洗濯ばさみで遊ぶ、粘土をちぎる、ボタンの大きい服で着替えの練習



広い線の上を歩く

🦵 理学療法の考え方を取り入れた運動支援

姿勢・バランス・体幹・歩く走るなどの基本の動きを、段階に合わせたメニューで練習します。

こんなお子さんに 転びやすい、姿勢を保つのが苦手、体の使い方がぎこちない、運動に苦手意識があるお子さん

おうちで 片足立ち・くま歩き・ケンケンなど短い時間の体あそび



大きなボールを押して転がす

🌀 感覚統合の考え方を取り入れた支援

ゆれる・回る・押す・触るなどの遊びの中で、感覚の受け取り方と体の使い方を一緒に練習します。

こんなお子さんに 音や触られることが苦手、揺れや回るのが大好き、じっとしているのが難しい、体の動きがぎこちないお子さん

おうちで 布団でゴロゴロ・お布団サンド、手押し相撲など全身を使う遊び



先生が止まったら止まる

🏃 運動療育

体を動かす遊びの中で、体の使い方・バランス・リズム感を練習します。

こんなお子さんに 体を動かすのが苦手・大好き、力の加減が難しい、集団の運動についていきにくいお子さん

おうちで ケンケン・まねっこ体操など、体を使う遊び



パラシュートに集まる

🎈 ムーブメント教育の考え方を取り入れた支援

パラシュートや音楽に合わせた遊びなど、楽しく体を動かす中で、体の動きと人との関わりを一緒に練習します。

こんなお子さんに 体を動かすのが好き、友だちと一緒の活動を楽しみたい、自信をつけたいお子さん

おうちで 音楽に合わせて動く・止まる遊び、風船バレー



光ったらたいこをたたく

🥁 リズム・リトミック(音楽を使った支援)

たいこや鍵盤で音やリズムに合わせて動く・たたく・まねる練習で、聞く力・やりとり・体の調整を練習します。

こんなお子さんに 音楽が好き、聞く力やまねる力を育てたい、ことばが少ないお子さん、重度のお子さん

おうちで 好きな歌に合わせて手をたたく、太鼓のまねっこ

※ 画面はタブレット教材の職員確認用の画面です。問題は取り組むたびに変わります。

主な領域ごとに並べています・ 認知・行動 7つ 健康・生活 1つ 人間関係・社会性 2つ



生活の行動を選ぶ教材

🧩 ABA(応用行動分析)の考え方を取り入れた支援

できることを小さな段階に分け、できたらすぐにほめて、手助けを少しずつ減らしていきます。

こんなお子さんに 身につけたい行動がある、困った行動を減らしたい、指示が通りにくいお子さん

おうちで できた時に「○○できたね」とすぐ具体的にほめる



手順カードで手洗い

🗂 構造化(見て分かる環境づくり)

見て分かるスケジュール・手順表・場所の区切りで、見通しを持って自分で取り組めるようにします。

こんなお子さんに 見通しが持てないと不安になる、予定の変更が苦手、何をするか分からないと動けないお子さん

おうちで 朝の準備を写真の手順表にして貼る、タイマーで終わりを見せる



決まった絵だけを数える

🔍 認知トレーニング

数える・形を写す・ちがいを見つける・形を頭の中で動かすなど、学習の土台になる力を練習します。

こんなお子さんに 数える・形を写す・見つけるのが苦手、学習の土台を育てたいお子さん

おうちで 形のパズル、ものを数えるお手伝い



1から順番に数字をタッチ

👀 ビジョントレーニング

目で追う・すばやく見る・見分ける・見て写すなど、読み書きや板書の土台になる見る力を練習します。

こんなお子さんに 文字や行を読み飛ばす、板書を写すのが苦手、ボール遊びが苦手なお子さん

おうちで 転がるボールを目で追う、まちがいさがしの絵本



絵の場所を覚えて答える

🧠 ワーキングメモリのトレーニング

見たこと・聞いたことを少しの間おぼえて使う練習で、指示を聞く・暗算などの土台になる力を練習します。

こんなお子さんに 指示を最後まで覚えていられない、忘れ物が多い、暗算が苦手なお子さん

おうちで お手伝いを「2つ続けて」頼んでみる



カードを見て覚えてから答える

⚡ 見たものを覚えるトレーニング(フラッシュカード)

次々に出る絵や文字を見て覚え、答える練習で、見て覚える力と集中を練習します。

こんなお子さんに 見て覚えるのが得意・好き、集中が続きにくい、語彙を増やしたいお子さん

おうちで 絵本の絵を少し見せて隠し、「何があった?」とクイズにする



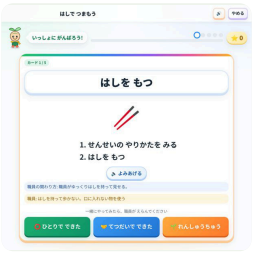
ブロックを並べて動かす

💻 STEM(プログラミング・科学あそび)

順番に考える・試してみる・直すをくり返すプログラミングや科学あそびで、考える力を練習します。

こんなお子さんに 考えることが好き、ゲームやパソコンに興味がある、試行錯誤する力を育てたい小学生・中学生

おうちで 料理やお片付けを「手順」にして一緒に考える



はしでつまむ練習

🥄 モンテッソーリの考え方を取り入れた日常生活の練習

注ぐ・つまむ・ボタンをとめるなど本物に近い道具を使った活動で、身の回りのことを自分でする練習をします。

こんなお子さんに 身の回りのことを自分でやりたい、集中する経験を増やしたい幼児

おうちで 小さなピッチャーで水を注ぐ、洗濯物をたたむお手伝い



やさしい言い方を選ぶ

🤝 SST(ソーシャルスキルトレーニング)

あいさつ・順番・気持ちの伝え方などを、ロールプレイや振り返りで練習します。

こんなお子さんに 友だちとの関わりでトラブルになりやすい、順番やルールが苦手、気持ちを伝えるのが苦手なお子さん

おうちで 家族でゲームをして「順番」「負けたときの言い方」を練習



ごっこ遊びのカード

🧸 遊びを通した早期療育(好きな遊びを使ったやりとりの支援)

お子さんの好きな遊びに大人が入り、見る・まねる・やりとりする場面を遊びの中でたくさん作ります(主に幼児)。

こんなお子さんに 人と目を合わせる・まねる・一緒に遊ぶのがまだ少ない幼児

おうちで お子さんの遊びをまねして、同じおもちゃで一緒に遊ぶ

2026年11月に加えた方法(1)

主な領域ごとに並べています・ 言語・コミュニケーション 4つ 健康・生活 3つ 認知・行動 3つ



使いたいときに押すボタン

🔊 声の出るカードで伝える支援

タブレットの読み上げや絵・文字のボードを使って、ほしいこと・気持ち・返事を相手に伝える練習をします。

こんなお子さんに 話しことばで伝えるのがまだ難しい、伝わらなくて困っている、ことばが聞き取りにくいお子さん

おうちで 「どっち?」と2つの写真や絵を見せ、指さしで選んでもらう



音を聞いて始まりの音を選ぶ

✍️ 多感覚で学ぶ読み書きの支援

文字を見る・音を聞く・声に出す・指でなぞって書くを組み合わせて、ひらがな・カタカナ・漢字や音読を練習します。

こんなお子さんに 文字を覚えにくい、読み間違いや読み飛ばしが多い、書くのに時間がかかるお子さん

おうちで お風呂で指で背中に文字を書いて当てっこをする



お話を聞いて答える

📚 対話しながらの読み聞かせ

絵本を読みながら「何がいるかな」「次はどうなる?」と問いかけ、お子さんの答えにことばを足して、やりとりと語彙を練習します。

こんなお子さんに ことばがゆっくり、絵本は好きだがやりとりが少ない、語彙を増やしたい幼児・小学校低学年のお子さん

おうちで 読み聞かせの途中で止めて「これなあに?」と聞き、答えにことばを足して返す



体で星のポーズ

🎨 表現あそび(描画・ねんど)

ことばにしにくい気持ちやできごとを、絵・ねんど・色・体の動きで自由に表し、職員に見せて伝える楽しさを練習します。

こんなお子さんに 気持ちをことばにするのが苦手、話すことに緊張しやすい、表現するのが好きなお子さん

おうちで お絵かきのあとに「これ、なにかな?教えて」と聞き、説明をそのまま受けとめる



職員2人の『かして』を見てまねる

🎬 お手本を見てまねる支援(ビデオモデリングの考え方)

職員のお手本や短い動画を見てから、同じように手順や関わり方をまねして練習します。

こんなお子さんに ことばの説明だけでは分かりにくい、見てまねるのが得意、手順や関わり方を身につけたいお子さん

おうちで 家族が先にやって見せてから「同じようにやってみよう」と声をかける



手をこすってぽかぽか

🌬 からだをゆるめる練習(リラクセーションの考え方)

風船の呼吸や、力を入れてからゆるめる体操などを、職員と一緒に行い、落ち着く方法を自分で使える練習をします。

こんなお子さんに 緊張しやすい、気持ちが高ぶりやすい、癇癪のあとに落ち着くまで時間がかかるお子さん

おうちで 寝る前に、風船をふくらませるつもりで一緒にゆっくり息をはく



ドキドキの大きさを選ぶ

🪜 少しずつ慣れる練習(段階的な慣れの考え方)

苦手な音・場所・場面を、やさしい段からむずかしい段まで本人と並べ、本人が「やってみる」と決めた段だけ1つずつ練習します。

こんなお子さんに 大きな音・初めての場所・人前で話すなど、苦手な場面が多いお子さん

おうちで 苦手な場面の前に「どこまでならできそう?」と本人に段を選んでもらう



作戦の順番に並べる

📝 自分で記録してふり返る支援(セルフマネジメント)

自分の行動や気持ちをチェック表やものさしで記録し、ふり返って次にどうするかを考える練習をします。

こんなお子さんに 自分の行動をふり返るのが苦手、やることを忘れやすい、自分でできることを増やしたい小学生・中学生

おうちで 朝の準備のチェック表を作り、自分で丸をつけてもらう



車と同じ数の●を選ぶ

🧮 具体物から学ぶ算数の支援

おはじきやブロックなどの具体物で確かめ、次に図、最後に数字の式へと順に進めて、数や計算の意味を練習します。

こんなお子さんに 数の意味がつかみにくい、計算の手順は覚えても意味が分かりにくい、文章題が苦手なお子さん

おうちで おもちゃやお皿を使って「いくつ?」「2人で分けると?」と数える



予定表で次を見つける

🧭 段取りの力を育てる支援

やることの順番を決める・計画を立てる・途中で確かめる・切り替えるなど、取りかかりから終わりまでの段取りを練習します。

こんなお子さんに 取りかかりが遅い、途中で何をするか分からなくなる、切り替えが苦手、忘れ物が多いお子さん

おうちで お出かけの準備を一緒に「1. 2. 3.」と順番に書き出す

※ 画面はタブレット教材の職員確認用の画面です。問題は取り組むたびに変わります。

主な領域ごとに並べています・ 認知・行動 2つ 人間関係・社会性 8つ



聞こえた音を当てる

🍃 今ここに気づく練習(マインドフルネスの考え方)

聞こえる音を探す・手ざわりを確かめるなど、五感を使って「今」に注意を向ける遊びで、注意を向け直す練習をします。

こんなお子さんに 気が散りやすい、切り替えが苦手、そわそわして落ち着かないお子さん

おうちで 散歩の途中で「聞こえる音をいくつ見つけられるかな」と一緒に探す



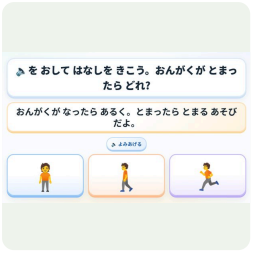
表にシールをはる順番

⭐ がんばりが見えるごほうびの仕組み(トークンの考え方)

自分で選んだ目標ができたらシールを1枚、たまったら好きな活動、という仕組みで、がんばりを目に見えるようにして続ける練習をします。

こんなお子さんに やる気が続きにくい、ほめられたことを実感しにくい、目標を自分で決める経験を増やしたいお子さん

おうちで 家でも同じ目標をシール表にして、できたらすぐに貼る



お話を聞いて答える

📘 場面を説明するお話を使った支援

これから起こる場面や、そのときのまわりの人の気持ち・よい行動を短いお話で読み、見通しを持って過ごす練習をします。

こんなお子さんに 初めての場面や予定の変更が苦手、相手の気持ちや場面のルールが分かりにくいお子さん

おうちで お出かけの前に「今日はこうなるよ」と短いお話にして伝える



やさしい声のかけ方を選ぶ

👫 友だちと一緒に学ぶ支援(ピアサポート)

少人数の友だちと一緒に、教え合う・手伝う・一緒に取り組む活動の中で、関わり方を練習します。

こんなお子さんに 友だちと一緒に活動するのが苦手・好き、教え合う経験を増やしたいお子さん

おうちで きょうだいや家族と役割を分けて、一緒にお手伝いをする



がっかりの大きさを選ぶ

💭 気持ちと考え方を整理する支援(認知行動療法の考え方)

困った場面で「何が起きた・どう思った・どんな気持ち・どうする」を順に整理し、別の考え方や対処のしかたを練習します。

こんなお子さんに 失敗するとひどく落ち込む・怒る、不安になりやすい、気持ちの切り替えが難しい小学生・中学生

おうちで 困ったことがあった日に「そのとき、どう思った?」と一緒に話して整理する



場面の気持ちを選ぶ

💗 気持ちの学習(社会性と感情の学習)

表情や場面から気持ちを読み取る・自分の気持ちに名前をつける・気持ちの大きさを表すなど、気持ちの理解と伝え方を練習します。

こんなお子さんに 自分の気持ちを言葉にするのが苦手、相手の気持ちが分かりにくい、気持ちが大きくなりやすいお子さん

おうちで 絵本やテレビを見ながら「この人、今どんな気持ちかな?」と話す



くやしいときの作戦

👾 気持ちをキャラクターにする支援(外在化の考え方)

イライラやドキドキをキャラクターにして本人と名前をつけ、「来たらどうする?」と作戦を考えて、気持ちとの付き合い方を練習します。

こんなお子さんに 怒りや不安が大きくなりやすい、失敗すると自分を責めてしまうお子さん

おうちで 気持ちが大きくなったときに、本人がつけた名前で「〇〇が来たかな? どうする?」と声をかける



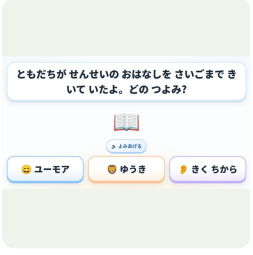
小さい子は5つの顔で選ぶ

🔆 うまくいっている所を見つける支援(解決志向の考え方)

「今日は10点中何点?」「1点上がるには?」「うまくいった日は何がちがった?」と、できている所から次の一歩を考える練習をします。

こんなお子さんに 自信をなくしやすい、できないことに目が向きやすい小学生・中学生

おうちで 「今日うまくいったことはなに?」と1つ聞く



友だちの強みを選ぶ

🌟 自分の強み発見(ポジティブ心理学の考え方)

「やさしさ」「ねばり強さ」などの強みカードから自分に合うものを選び、職員からもカードを贈って、自分のよさに気づく練習をします。

こんなお子さんに 自信をなくしやすい、自分のよいところが分からない、ほめられても受け取りにくいお子さん

おうちで その日に見つけたお子さんの強みを1つ、カードの言葉で伝える



今の気持ちの大きさを選ぶ

🌡 こころの体温計(気持ちに気づく習慣)

活動の始めと終わりに「今のきもちはどのくらい?」を顔のものさしから1タップで選び、活動の前と後で気持ちがどう変わるかを本人と見つける練習をします。

こんなお子さんに 自分の気持ちに気づきにくい、気持ちの変化をことばにするのが苦手なお子さん

おうちで 帰ってきたら「今のきもちはどのくらい?」と聞いて、答えをそのまま受けとめる

支援方法の選び方

1. ご希望をうかがう
見学・ご契約・モニタリングの面談で、お子さんの様子とご家族の願いをうかがいます。

2. 今の様子を確かめる
職員による確認やタブレット教材の記録、園・学校での様子から整理します。

3. 方法を選ぶ
担当者会議で話し合い、39の方法から3つ程度を選びます。今いちばん必要な支援にしぼり、それより少なくすることもあります。

4. 目標は願いの形で
「一人で着替えられるようになりたい」のように、お子さん・ご家族の願いの形で一緒に決めます。

5. 支援と記録
計画にそって支援し、様子を記録します。ご利用日の連絡帳の裏面で、その日の支援の方法とおうちでできることをお伝えします。

6. 見直す
半年に1回のモニタリングで、続ける方法・変える方法を一緒に考えます。

資格と監修について

理学療法・作業療法・言語療法の考え方を取り入れた支援を、4拠点の専門的支援を担当する職員が行います。体づくりは理学療法、手先や生活の動作は作業療法、ことばの土台は言語療法の考え方をもとに、お子さんの段階に合わせて練習します。医療機関で行う療法そのものではないため、専門的な評価や療法をご希望の場合は、医療機関とあわせてご利用ください。

各支援方法の説明は、ぐりーんの職員(児童発達支援管理責任者・心理指導担当職員・理学療法士)が監修しています。

よくあるご質問

Q. 支援方法は保護者が選べますか?

ご希望をうかがったうえで、担当者会議で話し合って決めます。気になる方法があれば、遠慮なくお伝えください。

Q. いくつの方法を同時に行いますか?

3つ程度です。今いちばん必要な支援にしぼることもあり、モニタリングで見直します。

Q. 専門的支援は、どの拠点でも受けられますか?

はい。4拠点すべてで行っています。

タブレット教材とのつながり

支援方法の多くは、ぐりーんオリジナルのタブレット教材とつながっています。専門的支援の時間には、選んだ方法に合う教材を職員が選んで使います。運動あそびや絵カードなど画面の外の活動も、教材のカードで手順を確かめながら職員と一緒に行います。

おうちでも、できることから

このパンフレットの各方法にある「おうちで」は、ご家庭で無理なくできる関わりの例です。ご利用日の連絡帳の裏面でも、その日の支援の方法と、おうちでできることをお伝えしています。

39の方法をくわしく
(各方法の説明ページ)

見学の予約
(無料・約60分)

まずは見学・ご相談から

見学では、実際の活動やタブレット教材の様子をご覧いただけます。お子さんに合う支援方法についても、お気軽にご相談ください。受給者証の申請前からご相談いただけます。

お電話 **0743-62-7557**

(受付 10:00〜17:00、土日祝は天理本店・橿原支店で受付)

天理本店
〒632-0076 奈良県天理市岩室町57番地4
平日 12:00〜18:00/土日祝 10:00〜17:00

菅原支店
〒631-0823 奈良県奈良市西大寺国見町三丁目2番10号
平日 12:00〜18:00/長期休暇 10:00〜17:00(土日祝は休業)

橿原支店
〒634-0008 奈良県橿原市十市町843-2
平日 12:00〜18:00/土日祝 10:00〜17:00

田原本支店
〒636-0247 奈良県磯城郡田原本町阪手638-1
平日 12:00〜18:00/祝日・長期休暇 10:00〜17:00(土日は休業)